

2025.9.30

Dance Base Yokohama

愛知県芸術劇場

Performing Arts Selection 2025 Festival Edition

パフォーミングアーツ・セレクション2025 フェスティバルエディション

2025.10/30 Thu - 11/2 Sun

愛知県芸術劇場 (小ホール／大リハーサル室／中リハーサル室)
メニコンシアター Aoi

10月30日(木)-11月2日(日)、Dance Base Yokohama×愛知県芸術劇場×メニコンシアターAoi
パフォーミングアーツ・セレクション 2025 Festival Edition 開催のご案内
～創造/発信拠点の連携で循環する舞台環境を整備、6つの新作を一挙上演～

「パフォーミングアーツ・セレクション」は、官民連携により創作と再演をつなぎ、国内外への展開を見据えて様々な組み合わせで上演するショーケースです。5年目となる本年は初めてフェスティバル形式で開催し、文化庁による文化芸術活動基盤強化基金を活用して2024年に開始したDaBYのプロジェクト「世界に羽ばたく次世代クリエイターのためのDance Base Yokohama 国際ダンスプロジェクト"Wings"」と、愛知県芸術劇場のプロジェクト「Constellation (コンステレーション) ～世界をつなげる愛知県芸術劇場ダンスプロジェクト～」から生まれた6作品を、名古屋の2拠点・4会場で一挙に上演します。ヒップホップ、クラシックバレエ、舞踏、演劇など多様な出自のクリエイターによる身体性に基いて創作した、日本文学や怪談をもとにした作品から「身体」や「存在」そのものに向き合う作品まで、幅広い作品群を上演。親子で楽しめたり、ライブミュージックを体感できるなど幅広い世代や興味をお持ちの皆さまにお楽しみいただけます。また、全会場でのシールラリーによりオリジナルグッズが手に入るくじ引きも開催。そして、同時期には国際芸術祭「あいち2025」も開催中です。愛知での充実した滞在をお楽しみいただけるこの貴重な機会にぜひ足をお運びください！

名称：パフォーミングアーツ・セレクション 2025 Festival Edition

会期：2025年10月30日(木)～11月2日(日)

会場：愛知県芸術劇場 (小ホール／大リハーサル室／中リハーサル室)、メニコンシアターAoi

参加クリエイター：

阿目虎南／岩渕貞太／小野彩加 中澤陽 スペースノットブランク／柿崎麻莉子／高橋萌登／三東瑠璃

アーティスティックディレクター・企画プロデュース：

唐津絵理 (愛知県芸術劇場 芸術監督／Dance Base Yokohama アーティスティックディレクター)

主催：Dance Base Yokohama [一般財団法人セガサミー文化芸術財団]、愛知県芸術劇場 [公益財団法人愛知県文化振興事業団]

共催：公益財団法人メニコン芸術文化記念財団

企画制作・共同製作：Dance Base Yokohama、愛知県芸術劇場

助成：文化芸術活動基盤強化基金 (クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業*) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

10/30 Thu | 愛知県芸術劇場 大リハーサル室



©HATORI Naoshi

三東瑠璃『満ちる』

身体の根源的な動きと感情の繊細な表現を探究し続け、数々の作品を発表してきた振付家・三東瑠璃。2025 年 4 月に愛知県芸術劇場ダンスアーティストに就任して以来、初めて創作する作品『満ちる』を発表する。現在を生きる身体と感覚にフォーカスした本作は、観る人の呼吸や身体に静かに寄り添い、ただ「在る」ことの豊かさを提示する。ピアノの原型とされるクラヴィコードの繊細な音色を奏でる内田輝の生演奏のもと、4 名のダンサーが見えない風、匂い、肌に触れる感覚等を大切にしながら、見えないものを見ようとする試みを行う。

演出・振付：三東瑠璃

出演：阪田小波、柴田真梨子、高橋真帆、牧野李砂

音楽・演奏：内田輝 衣裳：稲村朋子

10/31 Fri - 11/1 Sat | 愛知県芸術劇場 小ホール

阿目虎南『R/evolution (s)』

美術大学で彫刻を学び、舞踏カンパニー大駱駝艦で長年経験を積んだ阿目は、現象学、彫刻的視座に基づく独自の舞踏メソッド「Multi Layered Body」を用いて、「現代における身体感覚の再解釈」をテーマに創作に取り組む。本作では、「Revolution」が持つ、「公転」「変革」という二重の意味を出発点に創作を開始。身体の即物性に着目し、「公転」という事象から「永続性と断絶」「入れ替わり」「移動」「変容」を身体に投影し、研ぎ澄まされたソリッドな動きを生み出していく。舞踏以外の多様な背景を持つダンサーと協働し、舞踏の新たに芽吹く可能性を提示する。

演出・振付・美術：阿目虎南

出演：長田萌夏、鶴見香弥、畠中真濃、松倉祐希

音楽：網田破裂音、鳴神硬雪

小野彩加 中澤陽 スペースノットブランク

『ダンス作品第3 番：志賀直哉「城の崎にて」』

小野彩加 中澤陽 スペースノットブランクは、舞台芸術のあらゆる価値を探究し、身体のための新しい動きのメカニズム〈フィジカル・カタルシス〉を発展させてきた二人組の舞台作家である。本作は、そのメカニズムから立ち上がる実践をダンス作品として確立しようとするシリーズの第 3 番にあたる。今回の創作では、志賀直哉の小説「城の崎にて」を原案とし、城崎国際アートセンターでの滞在を通じてリサーチとクリエイションに取り組んだ。小説の内容や執筆の背景、作家が経験を創作に転化した行為の文脈を参照しつつ、現代を生きる私たちにとっての「表現」の姿を探究する。

原案：志賀直哉「城の崎にて」（1917 年）

振付・演出：小野彩加、中澤陽

出演：児玉北斗、斉藤綾子、立山澄

リハーサルディレクター：山口静

音楽：mmm 美術：カミイケタクヤ 制作協力：スペースノットブランク



2025 年 7 月 ワークインプロGRESSより



photo by bozzo／

写真提供：城崎国際アートセンター（豊岡市）

11/1 Sat - 11/2 Sun | 愛知県芸術劇場 中リハーサル室



プレビューショーイングより
©Joseph Marcinsky

柿崎麻莉子『hopee』

『hopee』は、柿崎自身の育児経験をもとに、親子でのびのびと鑑賞できることをめざして創作された、ポップでスタイリッシュなダンス作品。鮮やかで遊び心に満ちた公園や、目眩を誘う遊具のイメージを重ね合わせながら創作された本作は、子供も大人も共に楽しめる。何度でも膨らむ期待感と、そのたびに失う寂しさの、どちらをより心にとどめたいだろうか、と観客に問いかける。子どもたちの純粋なまなざしが舞台に反射して広がっていくことで、かつての子ども達は世界の広さを思い出すだろう。※終演後にはプレイタイムを予定。

演出・振付・出演：柿崎麻莉子

振付アシスタント：鈴木春香

出演：Karim、吉田渚、Liel Fibak

音楽：ICHI 美術：長峰麻貴 衣裳：渡辺慎也

11/1 Sat - 11/2 Sun | メニコンシアターAoi

岩渕貞太『大いなる午後：the soft machine xxx』

「この身体は、現代のテクノロジーにはまだ再現しきれない、豊かで精密な機構を備えた **soft machine** なのではないか」という発想からリサーチを開始。香港出身の哲学者、ユク・ホイが提唱する概念「宇宙技芸」を援用しながら、「舞踏」「武術」「古代の遺物」「古今東西の美術」などを紐解き、技術を単なる道具ではなく、その文化における「世界との関わり方そのもの」とし、世界を覆う単一のテクノロジー観から「技術の多様性」を見出す。複数の技術や感覚が混線するこの身体（局所・極所！）から生まれる「**soft machine**」たちのダンスを創作する。



2023 年「ALIEN MIRROR BALLISM」より
©Hideto Maezawa

演出・振付・出演：岩渕貞太

出演：小暮香帆、酒井直之

ドラマトゥルク：丹羽青人（Dance Base Yokohama）

音楽：須川崇志 衣裳：藤谷香子 アンダースタディ：大月侑

高橋萌登『仄仄』（ほのぼの）

ヒップホップとクラシックバレエを融合したスタイルを探究し、昨年主宰するダンスカンパニーMWMW としてアメリカ二都市で初の海外ツアーを行った高橋萌登。今作は、日本の怪談に着想を得て、一から高橋が執筆した詩的物語を軸として、言葉を越えた身体表現を通じて構成したダンス作品。空間は刻々と姿を変え、時間と間は独自の呼吸で流れていく。誰かと共にした記憶、交えたかもしれない瞬間。目や耳を逸らさず、それに触れてみる。こと。ざわり。近づく気配に、自分の感覚がどこまでひらくのかを試される。あわいに立ち現れるものたちとの、ささやかな交感のための怪談を描き出す。



2024 年『巳巳巳巳』より
©Sugawara Kota

演出・振付・出演・音楽：高橋萌登

出演：大西優里亜、中谷友紀

パフォーマンス・ピジョン・イネーブラー：伊藤千枝子

スケジュール／会場／上演作品

10 月 30 日 (木) 15:15 / 20:00
愛知県芸術劇場 大リハーサル室
三東瑠璃『満ちる』

10 月 31 日 (金) 19:00 / 11 月 1 日 (土) 15:00
愛知県芸術劇場
A プ ロ
阿目虎南
※10月31日(金) 16:00 小ホール
公開収録シンポジウム(予定) ラム
会場：愛知芸術文化センター12階 アートスペース
『R/evolution(s)』
小野彩加 中澤陽 スペースノットブランク 『ダンス作品第3番：志賀直哉「城の崎にて」』

11 月 1 日 (土) 12:00 / 11 月 2 日 (日) 12:00
愛知県芸術劇場
柿崎麻莉子『hopee』
中リハーサル室
愛知県芸術劇場
〒461-8525 愛知県名古屋市中区東桜 1-13-2 (愛知芸術文化センター内)

11 月 1 日 (土) 18:30 / 11 月 2 日 (日) 14:00
メニコンシアター Aoi
B プ ロ
岩渕貞太『大いなる午
高橋萌登『仄仄』
メニコンシアター Aoi
〒466-0006 愛知県名古屋市中区葵 3-1-1 Menicon Theater
Aoi Bldg.内
JR 中央本線「千種」駅 地下改札口方面、5 番出口より徒歩約 4 分
名古屋市営地下鉄 東山線「千種」駅 5 番出口より徒歩約 4 分
名古屋市営地下鉄 桜通線「車道」駅 4 番出口出ですぐ左折。徒歩約 7 分

チケット／料金

発売日：2025 年 9 月 12 日 (金) 10:00 (チケット販売中)
全席自由 (整理番号付)

・ Peatix ※ 全 公 演 取 り 扱 い
<https://pas2025festival.peatix.com/>

・ メニコンシアター Aoi ※メニコンシアター Aoi 公演のみ取り扱い

窓口販売：(公財) メニコン芸術文化記念財団事務室 (愛知県名古屋市中区葵 3 丁目 20-33 アゴラ葵 1F)

電話 予 約 : 052-938-7185

※窓口販売・電話予約の受付時間は 10:00～17:00。ただし、休館日は除きます。

Web 予約：<https://meniconart.or.jp/aoi/>

※ 開 演 後 の ご 入 場 は お 待 ち い た だ く 場 合 が あ り ま す 。

※ や む を 得 な い 事 情 に よ り 、 内 容 ・ 出 演 者 等 が 変 更 に な る 場 合 が あ り ま す 。

※ 車 椅 子 で ご 来 場 の 方 は 、 事 前 に Dance Base Yokohama に お 問 合 せ く だ さ い 。

チケット料金 (税込) :

・ 三東瑠璃『満ちる』 一般 ¥3,000 / U25 ¥1,000

・ 柿崎麻莉子『hopee』 一般 ¥2,000 / U25 ¥1,000 / 小学生以下 ¥500 / 3 歳以下大人 1 名につき 1 名まで
膝上鑑賞無料 (席が必要な場合は有料)

・ A・B プログラム共通 一般 ¥4,000 / U25 ¥2,000

※U25 は 公 演 日 に 25 歳 以 下 対 象 (要 証 明 書)

※ 柿崎麻莉子『hopee』 以外は 3 歳以下入場不可 (託児あり / 要申込)

シールラリー／特典のご案内

Festival Edition 限定！シールラリーあり

全4会場を巡って、オリジナルグッズが当たる「くじ引き」チャンスです。

〈 参 加 方 法 〉
本チラシを台紙として、各会場でシールを貼っていただきます。
シールが4つ揃うと、くじを1回引いていただけます。

くじ引きは、以下の上演前後に開催します。詳細はウェブサイトをご覧ください。
11月1日（土）18:30 / 11月2日（日）14:00 メニコンシアター Aoi 受付
11月2日（日）12:00 愛知県芸術劇場 中リハーサル室 受付

託児情報

愛 知 県 芸 術 劇 場
対 象 公 演 : 10 月 30 日 (木) 15:15 、 11 月 1 日 (土) 15:00 公 演
[対 象] 満 1 歳 以 上 の 未 就 学 児
[料 金] 各 公 演 1 名 に つ き 1,000 円 (税 込)
[申 込 締 切] 各 公 演 の 1 週 間 前 12:00 ま で
[申 込 先] オ フ ィ ス ・ パ レ ッ ト 株 式 会 社
TEL : 0120-353-528 (携 帯 か ら は 052-562-5005)
月～金 9:00～17:00、土 9:00～12:00 (日・祝日は休業)

メ ニ コ ン シ ア タ ー Aoi
対 象 公 演 : 11 月 2 日 (日) 14:00
事 業 者 : チ ャ イ ル ド ケ ア サ ー ビ ス ビ ヨ ビ ヨ
[対 象] 1 歳 以 上 の 未 就 学 児
[料 金] 1 名 に つ き 1,000 円 (税 込)
[申 込 締 切] 10 月 26 日 (日) 17:00
[託 児 会 場] メ ニ コ ン シ ア タ ー Aoi ビ ル 内 (ご 予 約 者 に 個 別 に ご 案 内)
[申 込 方 法] チ ケ ッ ト 予 約 後 に シ ア タ ー Aoi (052-938-7185) ま で お 電 話 。

鑑賞サポート

鑑賞サポート

視覚に障がいがあるお客さまへのサポート

事前にプログラムのデータをEメールでお送りできます。

ご希望の方は、劇場事務局（問合せ先）まで事前にご連絡ください。

申込締切：各公演の1週間前

＜お問合せ＞

- ・愛知県芸術劇場：052-211-7552（10:00～18:00）
FAX：052-971-5541 / E-mail：contact@aaf.or.jp
- ・メニコンシアターAoi
TEL：052-938-7185（10:00～17:00／休館日をのぞく）
FAX：052-982-9108 / E-mail：info-aoi@meniconart.or.jp

クレジット

主催：Dance Base Yokohama [一般財団法人セガサミー文化芸術財団]、愛知県芸術劇場 [公益財団法人愛知県文化振興事業団]

共催：公益財団法人メニコン芸術文化記念財団

企画制作・共同製作：Dance Base Yokohama、愛知県芸術劇場

助成：文化芸術活動基盤強化基金（クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業*） | 独立行政法人日本芸術文化振興会

*クリエイター・アーティスト等育成事業：阿目虎南『R/evolution(s)』、小野彩加 中澤陽 スペースノット
ブランク『ダンス作品第3番：志賀直哉「城の崎にて」』、柿崎麻莉子『hopee』、岩渕貞太『大いなる午後：the soft machine xxx』、高橋萌登『仄仄』

*文化施設高付加価値化支援事業：三東瑠璃『満ちる』

お問合せ

Dance Base Yokohama

E-mail：contact@dancebase.yokohama

世界に羽ばたく次世代クリエイターのための Dance Base Yokohama 国際ダンスプロジェクト “Wings” とは

“Wings”は、文化庁による文化芸術活動基盤強化基金におけるクリエイター・アーティスト等育成事業の【舞踊部門】で採択された3件の事業のひとつで、演出・振付家のほか、ドラマトゥルク、制作や広報など約10名のクリエイターが、メンターや講師との対話や海外視察、見本市でのプレゼンテーションなどの研修を重ね、企画・創作・初演・海外発表・再演までのプロセスを体験するプロジェクトです。

2026年度終了までに、7名の演出・振付家による6作品を海外で上演することをめざし、メンターからアドバイスやフィードバックをもらいながら創作を進めます。

演出・振付家うちの1名である鈴木竜は2024年に“Wings”新作として『TAMA』を発表し、25年9月に韓国公演を実現。ほかの5作品を本企画で発表いたします。

世界をつなげる愛知県芸術劇場ダンスプロジェクト “Constellation” とは

愛知県芸術劇場は、国籍や世代、文化的背景の違いを越えて人々をつなぎダンスの方に着目し、30年以上にわたりその魅力を発信してきました。そして今、新たな挑戦として「Constellation（星座）」プロジェクトを立ち上げました。

バレエ、コンテンポラリーダンス、ストリートなど多彩なジャンルで活躍するダンサーや振付家が「愛知県芸術劇場ダンスアーティスト」として集い、創造と交流の拠点となるプラットフォームを築いていきます。さらに、アーティストやクリエイティブスタッフのみならず、観客や地域社会もゆるやかにつながることで、創造・交流・発信の循環を生み出し、劇場が国際的なネットワークのハブとなる未来をめざします。星座のように、それぞれが響き合い、互いの輝きを高めてまいります。





©Mai Taniguchi

阿目虎南 Conan Amok <振付家・ダンサー>

DaBY “Wings” クリエイター。振付家・ダンサー。燦然 CAMP 主宰。A5yl/燦然光芒芸術監督。2010 年、武蔵野美術大学彫刻学科卒業。大駱駝艦に所属(2008-1019)、磨赤兒に師事。ソリッドかつ緻密な身体性、メタ的でありながら熱狂を伴うダンス作品を制作。現象学・彫刻的視座に基づく舞踏技術「Multi layered body」を研究実践し、国内外で WS や公演を行う。また、舞台・ドラマ・映画・PV・CM 等多数出演。Butoh Lab Camp 講師 (2023) 武蔵野美大特別講師 (2023) などを務める。



©野村佐紀子

岩渕貞太 Teita Iwabuchi <振付家・ダンサー>

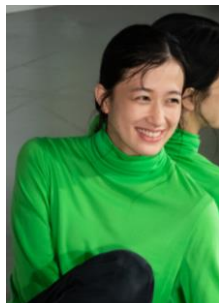
DaBY “Wings” クリエイター。玉川大学で演劇を専攻、平行して、日本舞踊と舞踏も学ぶ。2007 年より 15 年まで、故・室伏鴻の舞踏公演に出演、今日に及ぶ深い影響を受ける。05 年より、「身体構造」「空間や音楽と身体との相互作用」に着目した作品を創りはじめる。10 年から、大谷能生や蓮沼執太などの音楽家と共に、身体と音楽の関係性をめぐる共同作業に取り組む。12 年、横浜ダンスコレクション EX2012 にて、『Hetero』（共同振付：関かおり）が若手振付家のための在日フランス大使館賞受賞、フランス国立現代舞踊センター(CNDC)に滞在。自身のメソッドとして、舞踏や武術、老子などから触発された表現方法論「恍惚身体論」を開発。桜美林大学で非常勤講師を務める。LE SSERAFIM が好き。



©Dan Bellman

小野彩加 中澤陽 スペースノットブランク Ayaka Ono Akira Nakazawa Spacenohtblank <舞台作家・振付家>

DaBY “Wings” クリエイター。二人組の舞台作家・小野彩加と中澤陽が舞台芸術作品の創作を行なうコレクティブとして 2012 年に設立。舞台芸術の既存概念と、独自に研究開発する新しいメカニズムを統合して用いることで、現代における舞台芸術の在り方を探究し、多様な価値創造を試み続けている。固有の環境と関係から生じるコミュニケーションを創造の根源として、クリエイションメンバーとの継続的な協働と、異なるアーティストとのコラボレーションのどちらにも積極的に取り組んでいる。



©Yurie Nagashima

柿崎麻莉子 Mariko Kakizaki <振付家・ダンサー>

DaBY “Wings” クリエイター。香川県出身、元新体操選手。Batsheva Ensemble Dance Company (2012-2014) に所属後、L-E-V Sharon Eyal|Gai Behar (2015-2021) に所属し、世界各国で公演・WS 指導を行う。2011 年韓国国際ダンスフェスティバル金賞、2013 年度香川県文化芸術新人賞、2014 年 Israel Jerusalem Dance Week Competition、2020 年日本ダンスフォーラム賞、2021 年日本ダンスフォーラム賞、など受賞。2021 年カルチャーセンター「beq」を熊本に OPEN し、文化や芸術をカジュアルに楽しめる場を目指して活動中。ワークショップコミュニティ GAMAMA を主催。Gaga 指導者。



高橋萌登 Moto Takahashi <振付家・ダンサー>

DaBY “Wings” クリエイター。長野県出身。幼少よりクラシックバレエを始め、2011 年から東京 ELECTROCK STAIRS のメンバーとして活動。13 年より創作活動を本格化し、ソロ作品で Rencontres Choregraphiques Internationales de Seine- Saint-Denis、Festival Fabbrica Europa など海外フェスティバルに多数招聘。17 年、ダンスカンパニーMWMW(モウイモウイ)を設立。これまでに培ってきた表現やテクニックを凝縮したオルタナティブダンスをモットーとし、振付のみならず映像・音楽・ビジュアルデザインまで手掛け、独自の世界観を演出している。横浜ダンスコレクション 2021 で、審査員賞と城崎国際アートセンター賞をダブル受賞。ダンスグループ MWno ズで、かながわ短編演劇アワード 2022 グランプリ受賞。24 年、カンパニー初の海外ツアーをアメリカ 2 都市(NY/Chatham)で行った。

三東瑠璃 Ruri Mito <振付家・ダンサー>

5 歳からモダンダンスを始める。小学生にして「踊ることで生きる」と意識し、一筋に生きている。ソロ『Matou』(2015) は世界 14 カ国 21 都市で上演され続けている。振付の先にある、その人自身の身体から生まれる美しさ、生きる姿勢が浮かびあがるダンスを創り・踊り続け、国内外で注目を集めている。2017 年に Co.RuriMito を結成。愛知県芸術劇場ダンスアーティスト。